

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日
3. 業務の範囲	(1)維持管理に関すること。 (2)運営業務に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P308、309(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値) 【笠原中央公民館】 視聴覚室:27.6%(平均値比107.4% =27.6÷25.7%) 会議室1:39.9%(平均値比113.7% =39.9÷35.1%) 会議室2:24.7%(平均値比107.4% =24.7÷23.0%) 会議室3:29.6%(平均値比104.2% =29.6÷28.4%) 料理教室:11.3%(平均値98.3% =11.3÷11.5%) 和室1:52.0%(平均値比96.3% =52.0÷54.0%) 和室2:46.6%(平均値比93.0% =46.6÷50.1%) 茶室1:5.0%(平均値比66.7% =5.0÷7.5%) 茶室2:3.2%(平均値比50.8% =3.2÷6.3%) ホール:31.1%(平均値90.7% =31.1÷34.3%)	4点				
					平均値比(98%)=利用率(27.1%)÷27.6%(上記(1)適用)								
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	95%未満～85% 3点	年次報告書P309、310 (利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 【笠原中央公民館】 視聴覚室:5,833人(平均値比91.6% =5,833人÷6,366人) 会議室1:15,168人(平均値比98.4% =15,168人÷15,409人) 会議室2:3,885人(平均値比111.3% =3,885人÷3,491人) 会議室3:3,442人(平均値比127.6% =3,442人÷2,698人) 料理教室:1,441人(平均値92.6% =1,441人÷1,556人) 和室1:4,056人(平均値比86.5% =4,056人÷4,688人) 和室2:4,173人(平均値比94.6% =4,173÷4,409人) 茶室1:299人(平均値比63.1% =299人÷474人) 茶室2:193人(平均値比61.3% =193人÷315人) ホール:15,081人(平均値83.6% =15,081人÷18,047人) 陶芸工房:486人(平均値63.6% =486人÷764人)	3点				
					平均値比(93%)=利用人数(延べ53,571人)÷57,452人(上記(2)適用)								
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)			15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P312～342 ＜生涯学習講座の開催＞ ・春講座 28回 233人 ・夏講座 51回 1011人 ・秋講座 25回 336人 ・冬講座 33回 424人 ＜文化祭＞ ・アザレア文化祭&ふれあい福祉まつり ステージの部 800人 展示の部 公民館利用団体、講座受講生、地域の子ども、福祉関係の諸団体等による文化活動の成果を発表する場 ＜高齢者対象講座＞ ・ことぶき学級 かさはらカレッジ悠遊塾 23回 679人 ＜次世代育成事業＞ ・かさはら探検隊全10回 244人 ・探検隊オリジナルお米づくり! 他 ・子どもヨノナカ研究所 7回 37人 ・かさはら和太鼓クラブ 47回 799人 ・かさはらいこまい祭2018 3,000人 中学生祭りプロデューサー 7回 70人 高校生スタッフ 4回 76人 ・Kasamate(カサメイト)事業始動 14回 269人	仕様書以上 14点	・多世代のニーズに応じた、数多くの生涯学習事業が実施されている。 ・文化祭は、利用団体等のお互いの活動理解や新たなメンバーの獲得につなげることができた。 ・ことぶき学級は、高齢者を対象に、健康をテーマとした内容を継続的に実施し、多くの方の参加が得られた。 ・次世代育成事業は、地域・子ども・企業・団体をミックスし、多方面から、子ども達が地域の方と触れ合い、貴重な体験をすることができた。また、学校では学ぶことのできない身近に必要なことを子ども目線で学ぶ事業を行うことができた。 ・Kasamate(カサメイト)事業では、それぞれの個性を活かしながら、施設や地域に関わることができた。 ・スポレクかさはらでは、スポーツを子どもから大人まで気軽に参加して楽しむことができた。	14点			
			(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P.312～342参照(事業報告書) ・誰でも参加できる音楽劇「我らの吾が輩はネコである」 600人 練習50回 3,450人 ・笠原鉄道ノスタルジー ・100人のプレミアムなセカイ 加藤登紀子トーク&ライブ 他 3回 770人 ・こだわりスタの祭典 500人 ・かさはらHappyスクール アトリエかさはら陶芸部 他 26回 2,187人 ・お正月フェスティバル 100人 事前講習会 17人 ・オリジナル謎解きゲーム 不思議なネコからの挑戦状 420回 1,048人 ・オリジナル謎解きゲーム タイルラビリンスの謎を解け! 194回 540人 ・和室開放 ・和室開放 ・2階ロビー活性化事業(キッズガーデン)	期待以上 14点	・誰でも参加できる音楽劇は、回を重ねるごとに(今回7回目)大きな事業となっている。 ・事業を隣接した施設全体で展開し、ニーズに合ったおもてなしができた。 ・笠原鉄道ノスタルジーは、地域の記憶を掘り起こし、地域への愛着や誇り、つながりも再び掘り起こすことができた。 ・こだわりスタの祭典は、様々な団体と協力しながら開催し、公民館のネットワークも広げることができた。 ・隣接施設に訪れた方に、謎解きゲームを実施し、地域活性化を促した。	14点			
			①清掃			・年次報告書P344(維持管理業務) ※環境衛生業務参照	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点				
			②保守・点検			・年次報告書P344、345(維持管理業務) ※建築設備管理参照	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					

施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	③保安・警備	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・年次報告書P344(維持管理業務) ※防災・防犯管理参照	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		④小規模修繕			・年次報告書P345,346(有償修理の内訳) ※笠原中央公民館 37件 総額 3,537,086円(図書館笠原分館含む)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎朝職員による館内巡回と屋外でのごみ拾い、警備員による巡回というように日常的な点検で、それぞれの視点で施設を診て、五感を活用することで危険箇所を把握している。 ・職員間で危険箇所を抽出し、館内のマップへ落とし込む作業を実施。現状と経過の履歴を記録することで可視化。今後の管理するにあたっての情報共有につなげることができた。 ・多治見市が実施する、施設の点検のための研修や地域力向上のための防災講習などの受講を通じて、職員の資質向上を図りました。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・個人情報を収集する際には必要最低限の内容で留めるようにし、記載された文書は鍵のかかるキャビネットで保管。不要になったものについては必ずシュレッダーにて裁断して廃棄した。 ・ファイリングを活用し、文書を鍵のかかるキャビネットで系統立てて保管することで共有し、適切な時期に廃棄するという管理をしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		②環境への配慮			・多治見市に実施していただいたトイレ改修に合わせ、改修箇所ではなかった女性トイレに流水擬音装置を設置。音のために水を流すことを減少させる効果を生みました。 ・笠原中央公民館を起点に地域を清掃して歩く「クリーン大作戦」を実施。 ・毎日駐車場に落ちているゴミを拾うことで、屋外環境を美しくすることに取り組んだ。 ・月に一度公民館周辺を公民館・体育館・図書館笠原分館・商工会・地区事務所と一緒に清掃し、地域の美化に努めた。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。		
		③バリアフリー			・車いすの方に対しても、日常的に車椅子の導線を確保できるようにすることや、来館の際に扉を職員が開けたりとこまめに対応をした。 ・ホール事業が完売になった際に、足の不自由な方が少し離れた臨時駐車場から歩いて来られることがないように、建物外周に駐車スペースを設けた。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。		
		④備品管理			・日常的な点検で机やいすなど実際に動かしてみても点検をし、危険につながらないか確認し安全を確保するようにしている。故障箇所を発見した際には極力長く使用できるように、こまめに修理を行い、危険な際には適宜廃棄や交換を行った。 ・利用の多いテントについては、部品を交換するようにし、リフレッシュを図った。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。		
		⑤個人情報保護			・ホームページやフェイスブックなどの広報活動において、写真を掲載するにあたっては撮影時にご了承を得たうえで掲載、もしくは写真から個人が特定できないようなものを選択。 ・講座の申込などにおいては個票を使用するようにし、利用者相互の了解が無い段階で連絡先が知られることのないように注意した。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。		
	⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	○各区対抗ソフトバレーボール大会および練習会でのケガの発生 →帰宅されて後日病院に診察されたことから判明。公民館の保険を適用した。 ○体育館での熱中症の発生 →猛暑を記録した夏に体育館で熱中症になる方がおられました。公民館では冷房の効く部屋、簡易ベッド、タオルケットを用意した。	事故なし・対応に不備なし 0点	起きてしまった事故に対して、適切な対応ができている。	0点		
	3 当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入125,235,191円÷支出125,895,093円＝99% 笠原地区文化体育施設事業として全体収支としています。	100%未満 3点	収支は若干マイナスとなっているものの、適正に経営されている。	3点	
	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	◆会議室で動かした机をもとのように並べたいのわかるようにしてほしい。 →机の位置がわかるように床に印を打った。きちんとしたいという利用者のおかげで施設が気持ちよい状態に保つことができている。 ◆駐車場に近い事務所入口前のスペースがタイル張りのため雨天時に濡れて滑りやすい。 →珪砂を使用した滑り止めの塗装を施した。 ◆会議室のイスが重く、出し入れが大変だ。 →これまでのものより軽い椅子を購入して設置。加えて、椅子を掛けておくラックも、これまでの何段も上に重ねて収納するものから10脚を左右からぶら下げて載せるものにした。これにより、使用頻度が多い20脚程度が楽に移動して使用できるようになった。また積み上げるものではなくなったことから、女性でも高齢者でも安全に出し入れできるようになった。 ◆公民館までの道をしりたい。 →わかるところまで移動したらまた電話していただいて案内する、マップを印刷して説明するなど、そのときのお客様にとって一番わかりやすい形でお伝えした。 ◆近くに食事をするところがないか。 →近隣の食事をするところができるお店のマップを作成してご案内している。職員の感想などとも合わせて経路をご案内している。 ◆近くにどこか見どころはないか。タイルが買えるところはないか。 →モザイクタイルミュージアムが上から一望できる陶ヶ丘公園や三千盛など近隣の見所をご案内している。 ※こうした観光で来られた方のために図書館笠原分館とともに観光情報コーナーの充実を図っている。モザイクタイルミュージアムの冊子や多治見市内の観光情報冊子などこまめに補充し、新しいものが出た際には発行元や観光所から送っていただくようにするなど、細やかに取り組んだ。 ◆ロビーのイスだと小さい子どもが座れない。座ってもテーブルが使いにくい。 →ロビーに小さなお子様用の椅子を設置。毎日のように来ていただく親子にも大変好評でした。家族が一緒になって食事をし、くつろいでいる姿も見ることができた。	期待以上 9点	要望に対し、迅速かつ適切かつ細やかに対応できている。 ・食事のできるお店のマップを独自に作っている。 ・小さい子どもに合わせた椅子を設置し子どもと一緒にでも使いやすくなっている。	9点

4		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	◆ホール事業において自由席だと並ばなくてはならず、駐車場がないと慌てなくてはならないので指定席にしてほしい。 →自由席で実施していたホール事業(落語)を全席指定席に変更。 ◆予約したけど駐車場が不安だ →臨時駐車場がある旨を説明し、毎週末に臨時駐車場への誘導看板を設置し、状況に応じてこまめに「満車」の表示した。 →予想される台数に応じて近隣の駐車場を借用。また、バスに関しては臨時駐車場やバスレーンをご利用いただいた。	苦情なし・適正(普通)4点	・迅速かつ適切な対応ができています。	4点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・謎解きゲームの実施 →笠原町へ来られた観光客を公民館へ引き込み、施設に賑わいを創ること、また笠原町での若い世代や家族が大切な方と過ごす時間が豊かなものになるようにという想いから、館内を巡る謎解きゲームを実施。 ・定期利用団体のPR動画の作成と映写 →定期利用団体の活動を見える形にするために、団体の活動中の様子を撮影し、PR動画を作成。ロビーにて映写を始めた。 ・少し変わった“みせ方”で興味を引く →ホール事業のPRのために、出演者の写真をパネルにして展示。写真のなかで手に持ってい たトランプを使った謎を作成し、展示した。 ・お客様の“こまりごと”を多角的にサポート →聞き取りをするなかで、定期利用団体の運営の困りごとに対してサポートをすることで、施設の貸出だけでない、各団体のパートナーとして寄り添えるように取り組んだ。 ・チラシ代行作成サービス ・ラミネートフィルムサービス ・広報誌への募集記事の掲載 ・団体一覧表によるメンバー募集 …お客様と講師への仲介役も。 ・障がいを持つ方、足の不自由な方への対応 観光で来られたかたへの対応	期待以上 14点	より良い施設運営・事業実施のための提案がなされている ・モザイクタイルミュージアムができたことで公民館の周辺は町の行政の中心という位置づけから観光の拠点へと変化した。公民館ではその変化に対して求められる役割を果たすべく取り組んでいる。 ・定期利用団体の運営の困りごとに対応し、チラシの代行作成サービスなど、様々な支援をしている。	14点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施しています。	遅れ・不備なし 減点なし		0点
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計85点	極めて良好
							全体的な評価 【中央公民館】 ・一つの事業から拡がりをもった事業展開をすることができた。 ・新たな取り組みで、新たな利用者を生み出すことや、隣接する施設(体育館、モザイクタイルミュージアム)を訪れた方を巻き込む事業を展開をし、施設を核とした人の渦を生み出している。 ・地域事業を子どもの成長の支援の場として活用し、地域と関わりながら、事業を展開している。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行われている。	